

男子 23 回・女子 36 回全国都道府県対抗駅伝競走大会 代表選手の選考方針

2017. 5. 13 第 1 回定例理事会

1 大会日程

女子駅伝大会 平成 30 年 1 月 14 日 (日) 京都市
男子駅伝大会 平成 30 年 1 月 21 日 (日) 広島市

2 チーム編成 (大会規定による・以下は予定)

女子 監督 1 名・コーチ 2 名・選手 13 名 合計 16 名

[選手には、ジュニア A (高校生) 4 名以上、ジュニア B (中学生 2 年生以上) 3 名以上含まれること]

男子 監督 1 名・コーチ 2 名・選手 10 名 合計 13 名

[選手は、ジュニア A (高校生) 3 名以上、ジュニア B (中学生 2 年生以上) 2 名以上含まれること]

3 区間・距離

[女子] 9 区間 42. 195 km

区間	距離	備考
1	6 km	中学生は 3 区・8 区 高校生は 3 区間以上起用 ふるさと選手は 2 区間以内
2	4 km	
3	3 km	
4	4 km	
5	4. 1075 km	
6	4. 0875 km	
7	4 km	
8	3 km	
9	10 km	

[男子] 7 区間 48 km

区間	距離	備考
1	7 km	高校生
2	3 km	中学生
3	8. 5 km	一般・大学
4	5 km	高校生
5	8. 5 km	高校生
6	3 km	中学生
7	13 km	一般・大学

※ふるさと選手は、1 区間以内

4 代表選手選考基準

- (1) 強化指定選手で、全国大会 (日本選手権・国体・インターハイ・全国中学陸上) 等で入賞した選手。
- (2) 強化指定選手で、標準記録 A を突破している選手。標準記録 A を突破している選手がいない場合、標準記録 B を突破し、記録が上位の選手。
※中学生の場合は、標準記録 A・B を突破した選手がいない場合は、C を突破した選手まで繰り下がる。
- (3) 強化指定選手を選定できない場合は、標準記録設定期間において上位の記録を出した選手。
- (4) トラック種目及びロードレース大会 (県内外) での活躍が顕著な場合は、強化指定選手以外でも選考の対象とする。この場合は、大会の規模や記録を勘案して標準記録相当の比較とする。
- (5) 基本的には、(1)~(3) の条件を満たすものを代表選手として選考するが、駅伝種目においては、ロードの特性やコースへの順応といった戦略がチーム力となってくるため、トラック種目の記録だけではなく (4) の基準により選出される場合もある。

5 強化指定選手及び標準記録の設定

平成 29 年 4 月～11 月までのトラック種目において、表－1 にある標準記録を突破した者を強化指定選手とする。標準記録の設定にあたっては、各区分で次のとおり。

- < 一般選手 > A：全国大会上位入賞記録相当 B：全国規模大会決勝進出記録相当
- < 高校生 > A：全国高校総体決勝進出相当 B：東北高校陸上入賞記録相当
- < 中学生 > A：全国中学陸上標準記録相当 B：東北中学大会入賞記録相当
C：東北中学大会出場記録相当
※中学生については、過去の記録から標準記録 C を設定する。

表－1 標準記録

	種 目	標準 A	標準 B	標準 C
中学女子	1500m	4' 38"0	4' 44"0	4' 50"0
	3000m	9' 50"0	10' 05"0	10' 20"0
中学男子	1500m	4' 07"0	4' 11"0	4' 15"0
	3000m	8' 57"0	9' 04"0	9' 10"0
高校女子	1500m	4' 30"0	4' 33"0	
	3000m	9' 30"0	9' 45"0	
	5000m	16' 40"0	17' 00"0	
高校男子	5000m	14' 25"0	14' 35"0	
	3000mSC	9' 12"0	9' 18"0	
一般女子	5000m	15' 50"0	16' 10"0	
	10000m	33' 10"0	33' 40"0	
一般男子	5000m	13' 55"0	14' 10"0	
	10000m	28' 40"0	29' 10"0	